さくら会だより

SAKURA KAI

第41号　2015年10月発行　社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5－19－1
☎(03)5753−3900(代)・FAX(03)5753−3955
ホームページ：http://www.sakurakai.jp/

『認知症サポーター養成講座』
～月見橋在宅サービスセンター～

月見橋在宅サービスセンターでは、月1回家族会を開催しております。7月は初めての試みとして『認知症サポーター養成講座』を南大井・南大井第二、各在宅介護支援センターの協力のもと開催しました。

現在、全国に600万人を超える「認知症サポーター」がいます。「認知症サポーター」は認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアのことをいいます。

月見橋の家族会では、今まで認知症についての勉強会などを行ってきましたが、今回の講座を通じてご家族より「認知症についての正しい知識や付き合い方、認知症の人や家族の気持ちを改めて話し合う機会が持てました」との感想を頂きました。

認知症サポーター養成講座を受けた人は「認知症サポーターの証し」として『オレンジリング』が授与されます。

今後、更に『オレンジリング』をしている方々が増えて、地域のリーダーとして街づくりの担い手が生まれることを願いつつ、月見橋も「認知症ケアの拠点」として、これからも地域の方々と共に協力し、認知症サポーターを支援していきたいと思います。

＊さくら会のマーク
重なりあう花びらは、人と人とが互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

介護予防事業普及説明会

8月9日（日）に南大井在宅サービスセンターでは、介護予防事業普及説明会を実施しました。当日は、真夏にも関わらず69名の方が参加され、会場は熱気に包まれました。

説明会では、介護を必要としない方へ介護予防の必要性についてのお話や、さくら会で実施している介護予防事業についてのご案内をさせていただきました。

今回特徴的だったのは、息子さんや娘さんとご一緒に参加された方が多く、理学療法士の介護予防の話にも真剣に耳を傾けていらしたことです。

過去最高の参加人数に、いまさらながら介護予防の関心度の高さに驚かされました。

熱心に耳を
かたむけていらっしゃいます！

新クラブの発足

最近の麻雀は、「のまない・たべない・かけない」という、スマートなゲームとして、シルバー世代に人気があるようです。

我が大井林町高齢者住宅でもその流行の風が吹きだし、毎週火曜日、大勢の方々が集まり賑やかに麻雀卓を囲んでいます。特に女性の多くは、麻雀に対し興味津々、瞳キラキラです。

「麻雀ってやったことないのよねー。教えて」や、「この後、どうするの？」など、男性を捉まえては熱心に習い、楽しんでいます。

ジャラジャラの音と一緒に、笑い声もたくさん響き、とても明るい集まりになっています。

第36回　区民祭り

7月11日（土）、大井第一地区の「第36回区民まつり盆踊り大会」が、さくら新道を歩行者天国として開催されました。

「龍（ロン）」による華麗なよさこい踊りや、天狗の面を付けた大井権現太鼓の勇壮な演奏でまつりが始まりました。

地元の民謡歌手である大塚文雄さんの歌声で盆踊りも大いに盛り上がり、子供からお年寄りまで地域の方々によるふれあいの輪が広がりました。参加された皆さんは楽しいひとときを過ごされたことと思います。

さくら会からも多くのご利用者やご入居者が参加されました。地域の方々のご尽力やボランティアの皆様のご協力によって、おまつりに参加し、楽しむことが出来ました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

自衛消防発表会　参加!!

宮本さん（月見橋）　山本さん（ハイツ）　中村さん（老健）

6月26日（金）、小雨が降る中、都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場において、大井消防署主催の「平成二十七年度自衛消防技術発表会」が開催されました。

さくら会自衛消防隊として、さくら会のイメージ・カラーであるお洒落なピンクのユニフォームで2号消火栓の部（八隊参加）に参加いたしました。

今回は、他隊が全て男性隊員編成の中、フレッシュな男・女ペアで大会に臨み、日頃の訓練の成果を発揮し、優良賞を受賞しました。

この技術発表会への参加を通じて、防災意識をより一層高め、ご利用者の皆さまが安心してご利用頂ける施設を目指してまいります。

当日の大会の模様『自火報鳴動!!』

秋の食事特集

訪問看護ステーション

実りの秋、食べ物が美味しい季節となりました。いつまでも楽しく、美味しく味わいながらお食事したいものですね。近年、高齢者の栄養不足が問題になっています。高齢になると食が細くなる傾向にありますので、三回の食事以外におやつを加えて不足した栄養を摂るようにすると良いでしょう。こんな症状があったら、主治医や介護職員等にご相談ください。

むせ
誤嚥防止の反射

痰
喀痰の増加は嚥下障害のサイン

咳
弱い咳では誤嚥の危険

咽頭違和感
咽頭残留は誤嚥の前段階

食事中の症状

食事摂取量の減少
嚥下障害があると食事に時間がかかり、摂取量が減少します

水分摂取量の減少
水分にむせると自然にお茶などを飲まなくなります。

食生活の変化

嗜好の変化
頻回のむせなどの経験から、飲み込みやすい食品に好みが変わります。

体重の減少
体重減少は嚥下障害の大きな指標になります。

“のみこみづらい”“むせてしまう”などにより食べるのが困難になると
- **窒息、肺炎（誤嚥性）**
- **脱水、低栄養**
- **食べる楽しみの喪失**

などが問題となります。

食べるリハビリとともに、毎日食べる食品の形に気を付け、工夫することによって、このようなトラブルを防ぐことが大切です。

祭 第14回 さくら会まつり のご案内

日　時　平成27年11月1日（日）
　　午前10時～午後2時
場　所　社会福祉法人さくら会
　　南大井高齢者保健福祉複合施設
　　品川区南大井5―19―1
内　容　作品展示及び販売　手芸体験
　　お抹茶席　ミニバザー　模擬店
　　スタンプラリー　縁日
　　園芸販売・体験寄せ植え　ステージ他
　　（内容は都合により変更になる場合がございます）
協　力　大井第一地区町会連合会
　　品川区大井第一地域センター
　　社会福祉法人　品川区社会福祉協議会
　　社会福祉法人　品川総合福祉センター
　　社会福祉法人　福栄会

皆様に参加頂ける企画を色々と準備しておりますのでお誘い合わせの上、お越し下さい。

※　駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

寄附を頂きました!!

9月25日(金)品川区社会福祉協議会から多額の寄附金を頂きました。写真は贈呈式の模様です。頂いた寄附金は利用者の皆様のサービス向上のため、大切に使わせていただきます。

職員リレー⑯

ケアセンター南大井
所長　渡邉　志津子

皆さん、こんにちは。
平成18年にさくら会に入職し、今年で10年目を迎えました。
家族は、夫と柴犬2匹。仕事から家に帰ると、2匹が私の奪い合いとなり大騒ぎ。一気に疲れが吹き飛び、幸せな気分になる私です。
趣味とまでは言えませんが、山登りが大好きです。実家付近から秋田富士とも言われる鳥海山が見えるのですが、小さい頃から鳥海山を眺めて育ちました。絶景スポットも多く、美しい山です。ぜひ、皆さんもお出で下さい。

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。
〒140-0013 品川区南大井5-19-1
社会福祉法人さくら会　編集委員会　宛

次回の発行予定は、平成28年1月です。